

研究課題名	アプタマーを用いた感染症ウイルス検出に関する研究
本研究の目的	インフルエンザウイルス A/B や新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) または疑い患者から採取された検体を対象とし、ウイルスに結合する核酸分子アプタマーを用いたウイルス検出アッセイの開発を目的とする。
研究期間	2022 年倫理審査委員会承認後 ～ 2026 年 3 月 31 日
調査データ該当期間	2022 年倫理審査委員会承認後 ～ 2025 年 3 月 31 日
研究の方法	<p>●対象 インフルエンザウイルスや COVID-19 またはその疑いにより鼻咽頭ぬぐい液や鼻腔ぬぐい、唾液を採取、検査が終了した成人の方の残余検体</p> <p>●用いる試料・情報 調査項目：鼻咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液、唾液の感染症検査結果・発症から検査までの日数 検査項目：インフルエンザウイルス A/B、SARS-CoV-2 等の感染症検査 当院にて取得し保管されている残余検体（鼻咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい、唾液）に対しアプタマーを用いたウイルス検出法の試験を実施する。ウイルスのコピー数や変異型解析は東海大学医学部内 P2 実験施設にて実施する。東京農工大学ではアプタマーを含めたウイルス測定用試薬の調製を行う。株式会社デンソー・マテリアル研究部より測定装置の供与、研究のアドバイスを受ける。</p>
外部への試料・情報の提供	<p>●国立病院機構大牟田病院からは取得した検体残余を凍結保存にて必要に応じ東海大学医学部へ郵送</p> <p>●研究の結果は国立病院機構大牟田病院・東京農工大学・東海大学・株式会社デンソーで共有し、研究開発に役立てる。</p>
研究組織	<p><研究代表責任者> 国立病院機構大牟田病院 呼吸器内科 若松謙太郎</p> <p><共同研究責任者> 東京農工大学大学院 工学研究院生命機能科学部門 池袋一典 東海大学医学部 基盤診療学系臨床検査学 浅井さとみ</p> <p><研究協力機関>株式会社デンソー</p>
お問い合わせ先	<p>国立病院紀子中央大牟田病院 電話：0944-58-1122 (代表) 研究責任者：若松 謙太郎 (呼吸器内科) 東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学 研究責任者：浅井 さとみ 電話：0463-93-1121 (代表)</p>